

はっぽう

議会だより

1年の健康と幸せを祈って
白瀑神社

12月
定例会

- 12月定例会ダイジェスト…………… 4ページ
赤ちゃん誕生祝い金増額へ
- 町政を質す 一般質問…………… 7ページ
4名の議員が町の方針を問う

特集

2026年がスタート
4月の議員選挙はどうなる？

- 行政視察レポート……………14ページ
ふるさと納税、防災対策などの先進地を視察
- 特集どうするどうなる議員選挙…18ページ
どう選ぶ？立候補するには？選挙を深掘り
- 起こす継ぐ……………20ページ
やっほ～factory

起こす
継ぐ

町の産業を担う
若手経営者たち

第15回

峰浜梨の歴史を継ぐ
合同会社やっほ～farm



代表社員 越前谷 淳 さん
業務執行社員 山田 勝 さん
業務執行社員 山田菜々子 さん

◀地域おこし協力隊から起業まで▶

私たちは、元地域おこし協力隊の同期3人で令和7年2月に「合同会社やっほ～farm」を設立しました。年齢も価値観も近いことから、令和4年の着任後すぐに意気投合し、協力隊の活動の一環として、3人で小さな畑を借りて野菜作りを始めました。その野菜を県内のイベントで販売しながら、八峰町のPRを行いました。

同じ目標に向かい活動する日々は充実していたため、任期後も一緒に仕事をしたいという思いから、3人での起業を決意しました。

起業後は、協力隊時代から続けているカモミールの栽培、カモミールティーの製造・販売に加え、昨年4月に笠原果樹園を事業承継し、峰浜梨の栽培と販売に取り組んでいます。

◀東八森駅前に店舗オープン！▶

そして令和7年12月に、東八森の旧ビーチマートを改装した店舗「やっほ～factory」をオープンしました。

この店舗は、加工場・事務所・店舗の機能を有しており、カモミールティーや、傷みがあり販売できない梨を使って開発したジュース、ジャム等を販売しています。カモミールティーや梨ジュース、コーヒーが飲めるカフェスペースも併設していて、近所の方々を始め、町外からのお客様にも来店していただいています。今後は、町内の他の事業者さんの商品や、雑貨なども取り扱っていく予定です。農作業が優先のため、お店の営業日と営業時間は不定となります。

ますが、多くの方々に愛されるお店にしていきたいです。

今年は、地域の子供達との関わりを大切に、学びや成長、思い出づくりの場となればという想いから、農業体験にも積極的に力を入れました。

◀取材を終えて▶

将来的には、「農福連携にも取り組み、お年寄りや障害のある方々との関わりも大切にしていきたい。また八峰町での歴史の浅いカモミール栽培と明治時代から続く峰浜梨を、この先も絶やすことのないよう、私たちの事業を通して広めていくことを目標にしています」と語ってくれました。

(取材：山本 優人)

◀峰浜梨とカモミールを使った商品



▶代表の3名は元地域おこし協力隊

「やっほ～factory」店舗：東八森駅前
詳しい活動内容はInstagramで
チェック→



編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

12月議会では一般質問で前代未聞の4人全員がクマについて取り上げました。連日、全国でクマによる被害が発生し、今年の世相を表す漢字は「熊」となりました。生活圏に入ったクマの駆除、里山対策や林野の荒廃をなくしゾーニングで安心して暮らすにはどうするかが課題となりました。「クマさんくまさんこんにちは」のお遊戯や童謡「森のくまさん」を幼少期にのどかに歌って遊んでいたのがウソのようです。クマと人が共存して暮らせるよう、何をなすべきかみんなで話し合ひましょう。

(記 見上 政子)

●議会広報編集委員会

委員長 山本 優人
副委員長 奈良 聡子
委員 伊藤 吉子
委員 笠原 一子
委員 見上 八子

	支給額	
旧	1人	10万円
新	第1子	10万円
	第2子	30万円
	第3子～	50万円

町からの説明

【協議①】 第2子以降の 赤ちゃん誕生祝い金を増額

町から議員へ
事業説明

議会全員協議会から

12月1日に開催され、2件の協議と2件の報告を受け付けました。今回は協議2件と報告1件をピックアップして掲載します。

用語説明 議会全員協議会

町が新しい条例や制度、重要な施策を定める時、議会（本会議）に提出する前に議員全員に事前説明し、意見を求めるときなどに開催されます。

【協議②】
こども誰でも通園制度で
月10時間まで通園可能に
町からの説明

こども家庭庁の事業である「こども誰でも通園制度」を、事業者が実施するための施設・運営基準を条例制定する。

令和7年4月にさかのぼって、支給額を増額する。
第2子以降は1年以上、町に住所を有することを条件とする。

議員から町へ（質疑・意見）

問 100万円くらい思い切った増額を考えてはどうか。
答 意図的かどうかに限らず、転出する可能性もあるため、最高50万円とした。

問 一時金ではなく、1年ごとに10万円ずつ支給するなど、段階的に支給しては。
答 6歳まで月額1万5千円を支給する上小阿仁村の例もあるので、検討する。

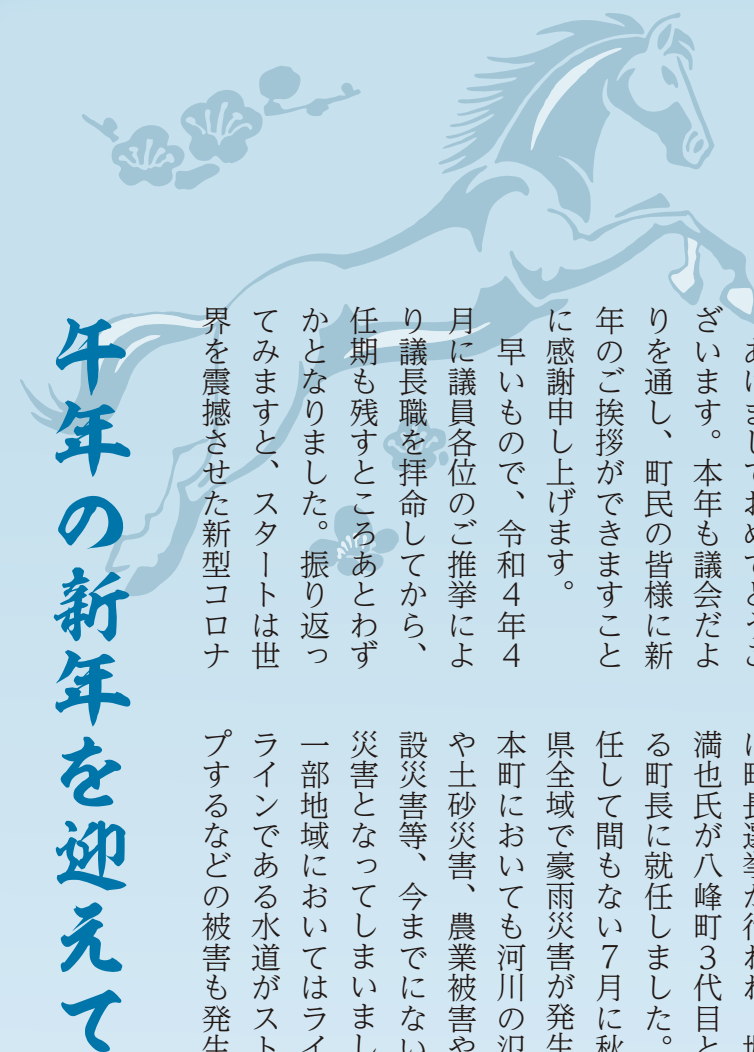
問 第1子と2子以降で差をつけるべきではない。
答 子どもが多いほど負担も増えるため、支給額に差を付けた。

【報告①】
八森小学校と峰浜小学校
統合すべきと判断
町からの説明

八峰町学校等再編検討委員会が委員会の開催や県内視察などを行い、再編の在り方について審議を行った。令和7年11月20日に、教育長に対して下記の答申を提出した。

学校等再編検討委員会から教育長へ4つの答申

1. 小学校再編（統廃合）の「具体的方針」について
 - 八森小学校と峰浜小学校を統合すべきである。
2. 再編後における学校の適正配置について（中学校を含む）
 - 統合小学校は現在の峰浜小学校に配置すべきである。
 - 中学校を含めた再編については町の財政上可能な時期とし、一体型もしくは隣接型で現在の中学校エリアに整備することが望ましい。
3. 再編に向けたスケジュールについて
 - 小学校の統合は令和12年度を期限として、できるだけ早急に実施することとし、その間複式学級の解消に努めるべきである。
4. 今後の子ども園について
 - 統合については、町の子育て環境を考慮し検討すべきである。



千年の新年を迎えて

あけましておめでとうございます。本年も議会だよりを通し、町民の皆様へ新年のご挨拶ができますことに感謝申し上げます。

早いもので、令和4年4月に議員各位のご推挙により議長職を拝命してから、任期も残すところあとわずかとなりました。振り返ってみますと、スタートは世界を震撼させた新型コロナ

ウィルス感染症が落ち着きを見せ、行動制限や規制が緩和傾向に向かっている時期でありました。

残念なことに令和4年12月に、病氣療養中であつた森田新一郎前町長が懸命の治療の甲斐なくご逝去されました。これまでの功績に感謝申し上げ、ご冥福をお祈りするものであります。

年が明けた令和5年1月に町長選挙が行われ、堀内満也氏が八峰町3代目となる町長に就任しました。就任して間もない7月に秋田県全域で豪雨災害が発生し、本町においても河川の氾濫や土砂災害、農業被害や施設災害等、今までにない大災害となつてしまいました。一部地域においてはライフラインである水道がストップするなどの被害も発生し

ましたが、関係者の懸命な復旧工事で早期の解決が図られたことは感謝に堪えないところでありました。

令和6年元日には能登地方を震源とする最大震度7の大規模地震が発生し、多くの方々が犠牲になる大惨事となりました。

そして昨年は日本初の女性首相となる高市早苗総理の誕生や、秋田県においても鈴木健太新知事が誕生するなど、政局に大きな変化が見られた年でもありました。ぜひ人口減少や経済対策など、重要課題を緩和できる1年にしていただければと思います。

町内においても少子高齢化による人口減少に歯止めがかからず、さらにはクマの異常発生や地球温暖化による大雨や高温被害も顕在化傾向にあります。こうした諸課題に対応するため町ではこの度、町政運営の指針である第3次八峰町総合

計画を、「まちづくりの道しるべ」として将来像の実現に向け最上位計画として策定しております。この計画の具体策を熟慮し新年度予算編成や事業計画を樹立してほしいものです。

本年も町民の皆様のご意見をいただき「オール八峰」で一致団結し、住みよい町づくりに努力することをお約束し、新年のあいさつとさせていただきます。

副議長 山本 優人
議員 笠原 吉範
伊藤 一八
奈良 聡子
芦崎 達美
水木 壽保
菊地 薫
腰山 良悦
見上 政子
須藤 正人
門脇 直樹
（議席番号順）

12月定例会 ダイジェスト

全議案等可決

12月定例会（12月10日～12日）では、条例改正や補正予算など15議案を審議し、すべての議案が可決されました。

条 例	7件
その他	1件
意見書	4件
補正予算	7件
陳 情	5件



条例議案

「こども誰でも通園制度」

運営基準の条例制定

議案の内容

○時間単位で保育施設等を柔軟に利用できる新しい通園制度を事業所で実施するための、設備・運営を定める条例。
八森子ども園、峰浜ポンポコ子ども園にあたっては、国・県から運営基準等が示されてから実施に向け対応する。

対象児童

通園していない0歳6カ月～3歳未満のお子さん

利用時間

月10時間まで

議会から町へ（質疑）

質問 町外の児童も利用できるのか。
答弁 利用できる。

反対討論

【見上】 申込み方法や病児対応の運営基準が国から示されていないのは問題。保育現場が混乱する恐れがあるため反対。
（賛成多数で可決）

職員・特別職・議員の 期末手当・勤勉手当など増額

議案の内容

○人事院勧告（＊）に基づき、職員の期末手当および勤勉手当の支給割合を0.025カ月引上げ。
（全員賛成で可決）

くる。

賛成（見上） 全産業との格差をなくすため必要。○夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため国に意見書提出を求める陳情
反対（山本） 全現場で人手不足の中、ケア労働者の増員と給与値上げの要求は一方的。
賛成（見上） 医療、介護と誰もが世話になる現場を維持することは必要。

（秋田県社会保険推進協議会から提出）

○「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情書

○「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書提出の陳情書
▼全て採択となり、意見書を関係大臣ほかに送付しました。

議会から町へ（質疑）
問 **トレーニングルームの需要に疑問**
クマの出没による室内運動の場として再開するとの説明だが、令和元年に利用者が少なく廃止となっている。発想が安易では。
答 **気軽に利用できる器具を購入**
以前のような専門的な器具は置かず、ウォーキングマシーンやエアロバイクなど幅広い年代が利用できるものとする。
問 **水沢橋が通れなくなった後の対応は**
橋を解体した後のバイパスの構想は。
答 **新年度予算で検討する**
萩ノ台踏切の改良と、踏切から国道までの道路の拡幅を令和8年度予算に計上予定。
問 **赤ちゃん誕生祝い金**
第1～3子で差をつけず、一律同じ額で増額すべきでは。
答 **子育て支援の観点で給付**
子どもの人数に応じかかるお金も増えることから、この金額とする。

反対討論

【見上】 補正内容の内、給与改定に伴う特別職と議員の人事費増額に反対。
（賛成多数で可決）

陳 情

（秋田県医療労働組合連合会から提出）
○ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求め、国に意見書提出を求める陳情
反対（山本） 医療現場だけの給料増額に反対。医療費と保険料の負担が現役世代にかかって

賛否が分かれた議案・陳情の結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

議員氏名	皆川鉄也	山本優人	門脇直樹	須藤正人	見上政子	腰山良悦	菊地 薫	水木壽保	芦崎達美	奈良聡子	伊藤一八	笠原吉範
議案等	議決結果	議長は採決には加わりません										
八峰町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決											
八峰町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決											
八峰町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	可決											
令和7年度八峰町一般会計補正予算(第7号)	可決											
ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求め、国に意見書提出を求める陳情	採択											
夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため国に意見書提出を求める陳情	採択											
「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情書	採択											
「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書提出の陳情	採択											
ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求める意見書について	可決											
夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため意見書について	可決											
「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」意見書について	可決											
「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書について	可決											

○町長・副町長・教育長・議員の期末手当を職員の手当引上げに合わせ、支給割合を増額。
反対討論
【見上】 特別職の期末手当を変更するには、審議会を設置すべき。議員の手当増額は町民の理解を得られない。
（賛成多数で可決）

補正予算

令和7年度 一般会計補正予算（第7号）

【補正予算（歳出）の主な内容】

○赤ちゃん誕生祝い金	第2子以降増額	170万円
○クマ・サルの出没増による有害鳥獣駆除報償費		245万7千円
○ハタハタ館トレーニングルーム運動器具		350万円
○水沢橋撤去の設計業務委託料		1000万円
○水沢橋取付水道管の移転補償金		3500万円
○8月豪雨による公共土木施設、農業用施設等の災害復旧工事		7534万1千円

ここが聞きたい

一般質問

ただ 町政を質す!!

4人の議員が一般質問

12月定例会では4人の議員が町政について質問しました。

p 8 菊地 薫 議員

- クマから町民をどう守る

p 9 山本 優人 議員

- クマ対策について
- 職員の人材確保・育成について

p10 見上 政子 議員

- クマを寄せ付けない里山づくりを
- 精神障がい者手帳更新費用に助成を
- 旧八森中のグラウンドの土砂堆積危惧

p11 奈良 聡子 議員

- クマ対策について
- 旧八森役場庁舎跡地の宅地無償譲与事業について
- 体験型・滞在型ツアー商品の開発について

日本を襲った未曾有のクマ被害
4人全員が町のクマ対策を質問!!



掲載している内容は、広報編集委員会で要約・校正したものです。全文が掲載された議事録はホームページでご覧いただけます。
12月定例会の会議録については作成中です。完成後すぐに掲載いたします。

一般質問とは？

町のさまざまな課題について、議員が住民の声や自身の考えを元に、提案も含めて町の方針を問うものです。

3月議会で「令和8年度予算」を審議します

当初予算

新年度に町がどんな公共事業や住民サービスにどれだけのお金を充てるのか、4月1日の年度開始前に編成して、議会に提出されます。

予算と議会の関係

町から提出された予算案を、町民の代表である議員が「適正な予算か」「どんなことに使われるのか」などしっかりチェックします。議会が認めないと予算は執行できません。

議会へ予算案提出までの流れ

10月～12月

1月

3月

新年度の予算編成

* 編成方針（予算の基本的な考え）に基づき、予算案を担当課で作成

町長・副町長による予算査定

* 町長・副町長による査定を経て、議会に提出する予算案を決定

議会による審議

* 町から提出された予算案を審議し採決

3月定例会での予算審議の流れ

開会

町長が予算編成方針と概要を説明

特別委員会で審査



予算内容について、担当課に説明を求め審査します

予算に対する討論



【起立採決】賛成の議員は起立します

賛成多数
↓
可決

賛成少数
↓
否決

閉会

3月議会定例会お知らせ

2月27日(金)	本会議1日目	行政報告、予算編成方針、議案審議ほか	町から議案の説明を受け審議します
3月2日(月)～9日(月)	予算特別委員会	令和8年度予算をチェック!!	
3月10日(火)	本会議2日目	一般質問	町の施策や課題について、議員が質問します
3月11日(水)	本会議3日目	一般質問	* 休会の場合あり
3月13日(金)	本会議最終日	予算特別委員会の審査報告、議案審議ほか	

●会場：役場2階 大会議室
※開会は10時からです。終了時間は議案数、一般質問者数、進行等によるため未定です。
※議会は町民の生活に直結した重要な問題が審議されます。本会議はどなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。団体での傍聴を希望する場合は議会事務局へご連絡ください。
※会議中の出入りは自由です。
(議会事務局 76-4607)



きくち かおる 議員
菊地 薫

クマ対策の

現状と今後は

町長 人とクマとの

棲み分け図る

菊地

当町においては幸い人的被害がなかったが、異常なほどのクマの出没に対して町はどう向き合ってきたのか。また今後の対策は。

町長

目撃情報の提供を行うとともに、駆除可能と

判断した場合は、地元猟友会の協力を得て銃による捕獲を実施している。また、職員や警察官による目撃情報のあった付近の巡回や、

花火による追い上げ、箱わなの設置等を行っている。3歳以上の園児から中学生の全員にクマベルを配布、希望

する町民にはロケット花火や爆竹を提供している。小中学校では、毎朝、職員による爆竹での追い払いを行うなど、子どもたちの安全確保に努めている。自衛隊による後方支援においては、箱わなの巡回や移動、捕獲個体の積み込みなどを行い、ドローンに積載した赤外線カメラを使い、河川や沢部の映像を見ながら、クマの出没経路の確認・調査を行った。

推進、放任果樹の伐採や藪化した農地の刈り払いを進め、管理強化ゾーンにおける管理捕獲の強化により、人とクマとの棲み分けを図る。また、捕獲技術者の育成も重要であり、地元猟友会に対し、狩猟免許の取得や猟銃購入の支援を継続している。

菊地

自衛隊に後方支援を依頼した件は新聞報道で初めて知った。議会との情報共有が足りないのではないか。

町長

自衛隊派遣は県からの緊急要望で実現したこともあり、そのスピード感に対応できなかった。町民の安全を守ることを優先した。

菊地

峰浜と八森で猟友会の会員数に大きな開きがある。十分な活動ができていないのか。

農林水産課長

八森支部4名、峰浜支



町は自衛隊による支援を要請

狩猟で生活できる

状況を

町長 国、県に働きかける

山本

今年度、クマによる人的被害が連日報道されている。この増加の背景には山の爽りの凶作による食糧不足、過疎と高齢化による里山や集落周辺の不十分な管理、放置人工林や開発による生息地である奥山の破壊・荒廃などが

指摘されている。

恐ろしいのはクマの行動形態が変わり、市街地に当たり前のように出没し、被害が常態化することである。人家周辺に出たクマが人の生活の中にある食料の味をいったん覚えてしまうと、それを求めて頻繁に出没する悪循環

環が生まれている。この人家周辺そして街中にも出没するクマにどう対応していくのか。

町長

目撃情報があった場合には、防災無線や町公式LINE、県のクマダスを活用した情報提供を行っているほか、地元猟友会の協力を得ながら銃器や箱わなによる捕獲、警察官の巡回、町職員による花火による追い払い等を行っている。

山本

熊を撃つには10年程度の狩猟経験が必要と聞く。捕獲に対し報奨金を出すなど狩猟で生活できる状況に持つていくことも一つの方法ではないのか。

町長

クマだけでなく町内にはイノシシ、サルの農作物等被害が多くなっている。全国的な議論となるよう県、国に対してしっかりと働きかけていきたい。



箱わなを設置する猟友会

職員の応募減少は

町の危機だ

町長 チラシなどで

PRに努める

山本

役場職員の将来の人材確保の点では、職員1人当たりの生涯収入を

とは、今後、町の将来にとって大変な危機ではないか。

町長

町の魅力をPRしつつ、この町をさらに盛り上げ役場職員になりたいと思えるような取り組みを町としても検討する。

山本

町の職員になってもらえるようなミーティングやディスカッションなど、大学生との交流の機会が必要だ。

町長

20歳を祝う会などで、町役場のPRチラシを作って配り、PRに努めていきたい。



やまもと ゆうと 議員
山本 優人



さとし 奈良 議員

町長 残り4区画に申し込みや問い合わせは寄せられていない。申し込み

町長 そういつ時期が来たら

見直しを含め、しっかりと町民や議会に示したい。

「体験型・滞在型ツアー商品の開発について」も質問しました。

奈良 アーバンベアの増加で生命の安全が脅かされている。徒歩圏内に居住している児童生徒は保護者の送迎に頼っているのが実情である。子どもたちの安全担保と保護者の負担軽減のためにも、すべての児童生徒をスクールバス

教育長 学校の解錠時間を早め、保護者の負担軽減対策を講じている。現状では定員と乗車時間の関係上、すべての児童生徒のバス送迎は非常に厳しい。

奈良 八森庁舎跡地宅地無償譲与事業は子育て世帯の定住促進を目的に計画されたが、現在借り受け済みは1区画のみ。現時点での問い合わせ状況と事業の見通しは。

町長 残り4区画に申し込みや問い合わせは寄せられていない。申し込み



八森庁舎跡地は住宅用分譲地として整備されている

奈良 アーバンベアの増加で生命の安全が脅かされている。徒歩圏内に居住している児童生徒は保護者の送迎に頼っているのが実情である。子どもたちの安全担保と保護者の負担軽減のためにも、すべての児童生徒をスクールバス

教育長 学校の解錠時間を早め、保護者の負担軽減対策を講じている。現状では定員と乗車時間の関係上、すべての児童生徒のバス送迎は非常に厳しい。

奈良 八森庁舎跡地宅地無償譲与事業は子育て世帯の定住促進を目的に計画されたが、現在借り受け済みは1区画のみ。現時点での問い合わせ状況と事業の見通しは。

町長 残り4区画に申し込みや問い合わせは寄せられていない。申し込み

会員の金銭的負担が増えており、猟友会と意見交換を重ねながら報酬の在り方を検討する。公務員ハンターについては国のクマ被害対策パッケージにも記載されており、引き続き県や他市町村との情報交換を行っていく。消費喚起策については、今後国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による支援策を検討する。

奈良 アーバンベアの増加で生命の安全が脅かされている。徒歩圏内に居住している児童生徒は保護者の送迎に頼っているのが実情である。子どもたちの安全担保と保護者の負担軽減のためにも、すべての児童生徒をスクールバス

教育長 学校の解錠時間を早め、保護者の負担軽減対策を講じている。現状では定員と乗車時間の関係上、すべての児童生徒のバス送迎は非常に厳しい。

奈良 八森庁舎跡地宅地無償譲与事業は子育て世帯の定住促進を目的に計画されたが、現在借り受け済みは1区画のみ。現時点での問い合わせ状況と事業の見通しは。

町長 残り4区画に申し込みや問い合わせは寄せられていない。申し込み

会員の金銭的負担が増えており、猟友会と意見交換を重ねながら報酬の在り方を検討する。公務員ハンターについては国のクマ被害対策パッケージにも記載されており、引き続き県や他市町村との情報交換を行っていく。消費喚起策については、今後国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による支援策を検討する。



みかみ まさこ 見上 政子 議員

軽度生活援助事業で
敷解消を

町長 専門業者を紹介する

見上 一人暮らしや高齢者世帯の家周辺の敷解消を、軽度生活援助事業を利用して計画的に進める考えはないか。また、中学校周辺のクマ出没は毎年聞くが敷払いや間伐対策はあるか。

町長 ご指摘の事は、高齢者等に対する「軽易な」日常生活上の援助が目的で、敷や果樹等の伐採は軽易な作業の範疇ではない。柿の木などの伐採は専門業者等を紹介する。

町長 中学校周辺は、こども園・峰栄館等もあり、目撃情報も多いのでゾ

障がい者手帳
更新費用に助成を

町長 現時点では支援は難しい

見上 精神障がい者は2年に1回手帳の更新があり、病院の診断書と写真を提出するが、1万円前後かかることから補助を考えないか。

町長 診断書の作成手数料は、健康保険の適用外のため自己負担となる。一方、手帳を所持することにより、税金控除や医療費助成など各種支援を受けることができる。更新費用の助成は、全国で約50の自治体で実施しているが、町の厳しい財政状況等を踏まえると難しい。

ーニング(*)設定を県と詰めて調整する。クマを里に寄せ付けないためには、ブナの植樹やナラの保全が大事であることから、今後は、町有林の適切な保全に努める。

***ゾーニング**
人の活動区域と野生動物の生息地を区分けし、棲み分けを図る手法のひとつ。

旧八森中の
土砂堆積を危惧

町長 搬入残土大幅に減少し支障はない

見上 旧八森中グラウンドへラウンドへダンプで災害残土や大

農林水産課長
令和5年の豪雨災害復旧工事で発生した建設残土の搬入は来年の3月までを予定しており、進捗状況は約75%となっている。当初は全ての災害残土を搬入予定だったが、別の捨てる場所もあり、半分以上に減る。グラウンドの、5分の1程度に残土が投入されるので、ヘリポートの運用は可能である。



旧八森中は災害避難場所となっている



定期監査を実施

11月に、名畑吉男代表監査委員と門脇直樹監査委員により、町の会計の定期監査が行われました。監査委員は、地方自治法によって設置が義務付けられています。八峰町は、代表監査に加え議会選出の議員1名が監査委員となっています。

毎月の例月出納検査の他に、決算審査と定期監査を年1回実施し、財務事務が適切に行われているかなどをチェックします。

適切な行財政運営に向けて

【当局が決算審査付帯意見回答を提出】

令和7年9月議会で決算特別委員会から提出した付帯意見に対し、町当局から回答が届きました。
(※回答は令和7年10月28日現在のもの)

峰浜小学校の授業を見学



タブレット端末を使った英語学習を体験

10月21日、峰浜小学校の見学を行いました。議会で説明を受けたり審議を行った設備や備品を実際に確認できました。



電子黒板などの電子通信機器によるICT教育の授業を見学

今月の表紙 白瀑神社初詣

みこしの滝浴びでも有名な八森の白瀑神社は、元旦から多くの参拝者で賑わっていました。参拝が終わると、多くの人は境内裏手にある「白瀑」へ。荘厳な滝に手を合わせ、一年の平穏と幸せを願っていました。



気温が下がると滝が凍る氷瀑が見られます

白瀑神社

853年開基と伝えられ、白滝川にかかる落差13m以上の「白瀑」がある景勝地でもあります。8月1日の例大祭では、みこしが町内を巡った後に滝つぼに入る全国的にも珍しい「みこしの滝浴び」が行われ、多くの町民や観光客が集まります。



おみくじの結果に一喜一憂

決算付帯意見とは？
決算については、認定する・しないだけでは、議会の意見が十分に表明できないため、町の予算の使い方や、行政運営について町に提出する意見。

意見1

スクールバス運行の 経費を抑える見直しを

スクールバスの運行委託料が年間9300万円以上もかかっている。
今後児童生徒数の減少が想定される。委託ではなく町直営の運行を検討するなど、予算を抑える運行見直しを検証すること。

回答

学校再編や児童生徒数を 見据え検討する

スクールバス運行委託料は、運転手不足、賃金上昇などの理由で増加している。町ではこれまで、児童生徒数の変動などにより、随時運行ルート等を見直してきた。
夏休みのプール送迎、土曜日の部活動送迎の運行を中止、運行ルートや1日の

意見2

水道事業を持続するための 経営ビジョンを

簡易水道（小規模水道事業）と下水道事業は、町民に必要な不可欠なインフラだが、人口減少や施設・設備の老朽化等の課題を抱えている。将来を見据えた経営ビジョンを示すこと。

回答

持続可能な水道事業のために 経営戦略を改定

水道事業を取り巻く環境は大きく変化しており、地域課題のほか、災害リスク対応の必要性も高まっている。
効率的で持続可能な経営を実現するため、経営戦略の改定を行った。
人口減少に伴い料金収入も減少することから、料金改定を考慮した財政シミュレーションや、老朽化施設の計画的な更新などの課題に対して中長期的な財政計画を検討した。

今後の対策と取り組みは、まとめ次第、改めて報告する。

意見3

町の借金が増える中で 安定した財政運営を

町債残高が前年度より増えている上、一般廃棄物処理施設（ごみ処理場）整備事業などで公債費が増え、財政を圧迫することが推測される。引き続き、安定的な財政運営に努めること。

回答

借金残高を減らし 財政の健全化に取り組む

令和6年度一般会計の町債残高は、一般廃棄物処理施設整備事業による借入金に影響して前年度比1.4億円増となり、平成27年度以降減少してきた町債が増加に転じた。
令和7年度9月時点の町債残高は67.7億円の見込みである。
昨今、金利が上昇し、利払費が高み公債費がさらに膨らむ状況にある。令和8年度当初予算では、借入金元金償還額を上回らないよう町債残高の減少に努め、公債費が財政を圧迫することのないよう、財政の健全化に取り組む。

ふるさと納税寄付額 全国1位の町
北海道 白糠町



○視察目的

白糠町は、人口約7,000人の町だが、令和6年度のふるさと納税寄付額が212億6千万円である。ふるさと納税を財源に「子育て応援日本一の町」をキャッチフレーズに

様々な施策により、子育て世代の移住者を増やしている。

わずか10年余りで、212億円もの寄付額となったノウハウを学び、八峰町の寄付額増の参考としたい。



開拓者精神が根付く挑戦の町
北海道 東川町



北海道のほぼ中央に位置し、自然公園「大雪山国立公園」の区域の一部となっている。旭川市の中心部から10分、羽田空港から2時間、羽田空港から2時間、国道、鉄道の3つの「道」がない町。

「道」がない町。単独立町として「写真の町」を宣言し、以

来、「自然と文化と人が出会う」「写真映りのよい」町づくりを進めている。

○豊かな水資源産業

主要産業の農業は米が中心で、ミネラル豊富な地下水で育てられた東川米（ゆめぴりか）は、全国に知られた北

○視察内容

白糠町のふるさと納税は2014年（H26）の3月議会の一般質問から始まった。翌2015年（H27）には「ふるさと納税推進係」を設置し、職員一人を配置して、同年寄付額は1億5,900万円となった。年々担当職員を増やすと同時に寄付額は増え、現在は正職員5名、非正規職員2名、契約ポータルサイトは26で、寄付額212億円となっている。

白糠町には元々大きな水産加工会社があり、町外から魚介類を仕入れ、加工することでふるさと納税の95%を占める商品開発を行っている。

町長と職員が一体となり取り組んだからこそ、成しえたものだと言った。

北海道屈指の米どころで生産された「特A」ブランド米。

○移住・定住

移住支援は、景観住宅支援や薪ストーブ等設置補助、起業家支援、空き家流動化対策等の補助事業を制度化している。これらは、移住者に限定することなく、町民への支援として実施している。

○ふるさと納税

「ふるさと納税制度」を「ひがしがわ株主制度」と命名し、町を応援する人が「投資（寄付）」によって「ひがしがわ株主」となり、町の未来を育むことを趣旨に財源確保と関係人口増加に取り組んでいる。また、企業版ふるさと納税にも取り組み、企業と連携して、起業家支援や人材育成

の財源として活用している。

○企業連携

企業連携として町とつながりのある企業とパートナーシップ関係を構築し、地方や日本世界の未来を育む社会価値の共創を目指すため、現在53社と締結、会社や企業の人材・技術・ノウハウを町づくりに生かしている。



所感

昨年訪れた茨城県境町もそうだったが、行政にはスピード感が必要である。一般質問の翌年には「ふるさと納税推進係」を設置し、わずか10年で納税額日本一である。そして2025年（R7）の一般会計予算は331億円である。人口7,000人の町としては異例の大型予算である。視察の後に訪れた、飲食店の女将さんの話が印象に残っている。「町長も担当職員も時々来るけれど、とにかく頑張る人たちが。移住者は増え、何万人と集まる花火大会や、楽しいイベントもある。ふるさと納税様々だ。」ふるさと納税は、町民に浸透し町の誇りになっていた。



笠原 吉範 議員



山本 優人 議員

所感

東川町では、行政の理念実現に向け3つのないは言わない「前例がない、他の町ではやっていない、予算がない」の言葉を禁句としている。職員一人ひとりの意識が変わり、挑戦する姿勢と行動により、好機を掴む姿勢がなければ活性化しないと根付いている。

東川町の取組は、単なる人口増加を目指すのではなく、「まちの魅力に共感し、長く暮らしたくなる環境づくり」に力を入れている。結果として移住定住にもつながる。企業との連携による関係人口の拡大により、「町外の力」を積極的に町づくりに利用する方法は見習うべきと感じた。

せまる！町議員選挙 4月19日

どうするようになる、あなたは？

4年前の選挙は立候補者数が定員を超えず無投票。

現在、引退を表明した議員が3名（1月現在）

選挙で一票を投じて町民の代表を選ぶのも大事な政治参加です。その選挙が無いまま議員が決められていくのか？

今月号は選挙について特集します。



議員になるには？

議員になるには、立候補し選挙で当選する必要があります。

条件

- 満25歳以上の日本人
- 八峰町の選挙権を持っていること（引き続き3ヶ月以上、八峰町に住所のある人）

必要なお金

供託金 15万円

売名目的など、当選の意思のない人が安易に立候補することをふせぐためのお金です。当選もしくは一定の得票数に達した場合は返還されますが、有効投票総数に対して一定票（供託金没収点）に達しない場合は没収されます。

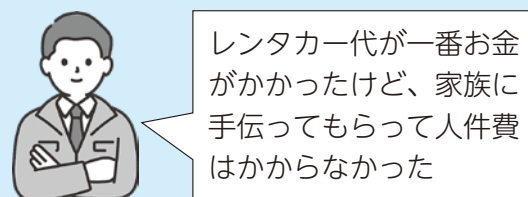
選挙に必要なもの（人によって違います！）

公費負担のあるもの	助成金上限額
選挙カー	1日64,500円×5
選挙カー ガソリン代	1日7,700円×5
運転手	1日12,500円×5
選挙ポスター	公費負担あり
選挙ビラ	単価8.38円

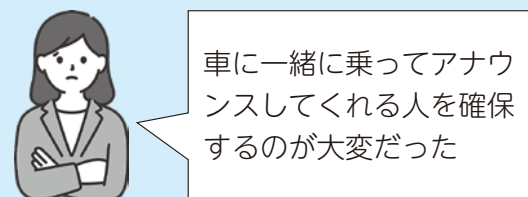
※得票数が供託没収点を下回った場合は、全額自己負担となります。

自己負担で必要なもの

左の表の助成金を超えた費用のほか、「選挙タスキ」「選挙ハガキ」「立て看板」「必勝だるま」など。
人によって必要なもの、かかる費用は違います！



レンタカー代が一番お金がかかったけど、家族に手伝ってもらって人件費はかからなかった



車と一緒に乗ってアナウンスしてくれる人を確保するのが大変だった

立候補予定者説明会

2月25日（水）
13時30分～
役場2階大会議室

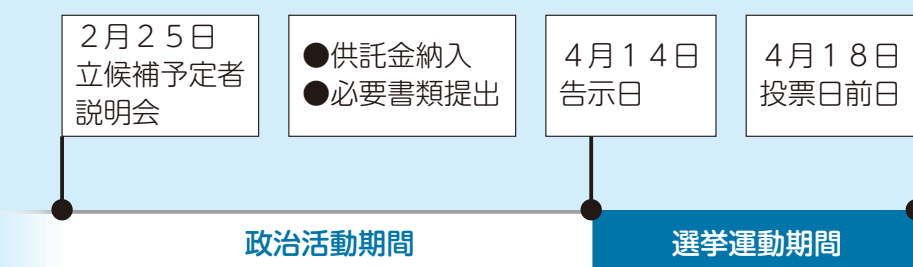
立候補予定者を対象とした各種手続きなどの説明会が行われます。立候補を予定している方はご出席ください。代理の方でも大丈夫です。

問合せ先：選挙管理委員会
76-4800

立候補者がやってはいけないこと

ポスター掲示、街頭演説などの「選挙運動」をしていい期間は、立候補が認められた「告示日」から「投票日前日」までと公職選挙法で決められています。選挙運動を告示日前に行うと違反です。

なお、告示日前に住民との対話やリーフレットを配るなどの「政治活動」を行うことは可能です。（「投票してください」などはNG）詳しくは、立候補予定者説明会でご確認ください。



投票所

立候補者の数が定員を超えると、選挙が行われます。昨年、投票所が8カ所から3カ所となっているので、ご注意ください。当日、自分がどこの投票所にいけばいいかは選挙管理委員会から送られる入場券（ハガキ）をご確認ください。

	新投票所 (R7～)	旧投票所
1	峰栄館	水沢(高野々、大土面) 大沢、石川、田中
2	役場	水沢(高野々、大土面以外) 目名湯
3	ファガス	八森、観海、岩館

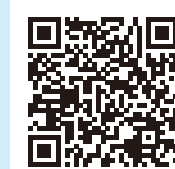
バスや乗合タクシーなどの移動支援も行われます。

期日前投票は、
峰栄館とファガス
どちらでもできます！

誰に投票する？現職の議員の評価は

現在の議員が、議会でどんな質問をしているのか？どんなことに反対・賛成しているのか？是非、議会だよりをご覧ください！

もし過去の議会だよりが読みたい場合、八峰町のホームページでも読むことができます。インターネットで「八峰町 議会だより」と検索してみてください。こちらのQRコードからもご覧になれます。



議会だより77号（R7.7.25）、78号（R7.10.24）では、議員の仕事内容や給与・休暇などを特集した「[町議会議員のあれこれ](#)」を特集しています。

議員のことをもっと知りたい、立候補に興味のある方は読んでみてください！